

Hakuri ECO

環境対応型 建築用塗膜剥離剤

MADE IN JAPAN

従来の塗膜剥離剤で採用されている塩素系有機溶剤(ジクロロメタン)を使用せず、建築・土木・機械等の幅広い塗膜除去に使用可能です。

★製品の特長

- ・塩素系有機溶剤「ジクロロメタン」を使用しておりません。
- ・塗膜への浸透性が良く、乾燥が遅いため、夏期～冬期と年間を通して剥離性能が低下しにくいいため、作業効率が良いです。
- ・アスベスト含有塗材に対して、飛散防止しながら剥離ができます。
- ・生分解性の高い溶剤での配合により、環境負荷を抑制できます。
- ・中性の為、コンクリート・モルタル・金属面への影響が少ないです。

★ご使用方法

■ 予備試験 (適性確認)

- ・塗膜の種類、構成、塗替え回数、劣化状態、気象条件により、仕様が異なりますので必ず確認してください。(標準塗付量:0.5kg/m²)
- ・予備試験は可能であれば数か所で行うことが望ましく、本施工と同様の施工手順で行ってください。

【旧塗膜の種類と塗付量および放置時間の目安】

旧塗膜の種類 (例)	塗付量	放置時間	
		夏期	冬期
薄塗材(樹脂リシン)	0.3~kg/m ²	18時間	36時間
複層塗材(アクリル系吹付タイル)	0.5~kg/m ²		
厚塗材(樹脂スタッコ)	1.0~kg/m ²	24時間	48時間

■ 本施工

- 養生
拡散防止のため、施工箇所に養生シート・飛散防止ネット等を用いて養生してください。
- 塗付
予備試験で確認した塗付量を守って、均一に塗付してください。
- 放置
上記放置時間の目安および予備試験で確認した時間、季節や気温を考慮して、軟化状態になるまで放置してください。
- 剥離、ケレン作業
塗膜が軟化状態になったら、スクレイパー・ケレン棒・ワイヤーブラシ等で剥離除去してください。
- 産廃処理事業
塗膜や剥離剤等はビニール袋等に入れて、法令・条例に従って処理してください。



★製品入目 (荷姿) 16 Kg (石油缶)

★適用法令等

- 消 防 法 : 指定可燃物 可燃性固体類
安 衛 法 有 機 則 : 非 該 当
P R T R 法 : 非 該 当

★化管法GHS標記



★取扱い上のご注意

- ・SDS内「7.取扱い及び保管上の注意」を良くお読みいただき、「8.暴露防止及び保護措置」記載の設備対策を行い、保護具を着用してください。
 - ・吹き付けで塗付した場合の乾化作業に於きましては、換気を良く行ってください。
- ※ その他詳細につきましては、SDS(安全データシート)を必ずお読みいただいた上で、適切にご使用ください。

レンタル&販売 作業環境の快適化・工事の合理化を提案します。

サンワ・リノテック株式会社

本 社 〒551-0033 大阪市大正区北恩加島1丁目17番4号
TEL 06-6551-0024 FAX 06-6554-1058
関東営業所 〒143-0021 東京都大田区北馬込2丁目43番5号
TEL 03-6410-7395 FAX 03-6410-7397